



桑原甲子雄《渋谷駅》(〈東京戦後〉より) 1965年 セラチン・シルバー・プリント

ミュージアム コレクションⅡ

東京スケイプ Into the City

Museum Collection Ⅱ

Tokyoscape: Into the City

2018.7.21.Sat >>> 10.21.Sun

会場: 世田谷美術館 2階展示室

開館時間: 10:00~18:00 (最終入場は17:30まで)

休館日: 毎週月曜日

*ただし9月17日(月・祝)、9月24日(月・振替休日)、10月8日(月・祝)は開館、9月18日(火)、9月25日(火)、10月9日(火)は休館

観覧料: 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

* () 内は20名以上の団体料金

* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者の方は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。

* 小・中学生は土・日・祝・休日および夏休み期間中は無料。

* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

桑原甲子雄

師岡宏次

濱谷浩

高梨豊

荒木経惟

平嶋彰彦

宮本隆司

勝又公仁彦

萱原里砂

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
観覧会のご案内 03-5777-8600(ハローダイヤル)

東京スケープ Into the City

Museum CollectionⅡ

Tokyoscape: Into the City

日々めまぐるしく変化し、多面的な顔と複合的な要素を併せ持つ巨大都市、東京。人によって思い描くイメージもさまざまでしょう。本展は、「東京の街」を中心的なテーマに据えて形成されてきた世田谷美術館の写真コレクションにより、1930年代から2000年代にかけ、時間軸を越えてこの都市のすがたを展望するものです。時代の移り変わりとともに数々の事象を呑みこみ、変貌を重ねてきたその重層的なあらまし—9人の写真家の眼がとらえた、それぞれの「東京」をご覧ください。

出品作家

桑原甲子雄(1913-2007)、師岡宏次(1914-1991)、濱谷浩(1915-1999)、高梨豊(1935-)、荒木経惟(1940-)、平嶋彰彦(1946-)、宮本隆司(1947-)、勝又公仁彦(作者の希望により生年は非公表)、萱原里砂(1969-)



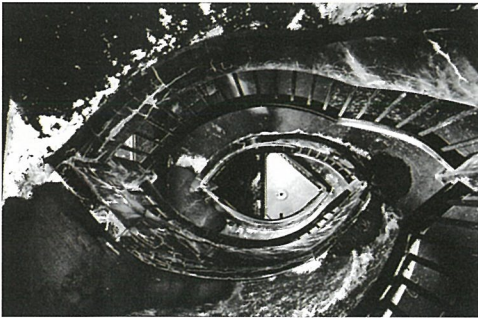
濱谷浩《切り絵師》1939年 ©片野恵介



師岡宏次《深大寺そば》1955年



荒木経惟《東京物語》より 1988年



平嶋彰彦《住吉一丁目(同潤会猿江裏町アパート)》1986年



高梨豊《新宿》1987年



宮本隆司《東京都体育館屋内プール》1987年



萱原里砂《watershed》より 1999-2001年



勝又公仁彦《Dwelling》より 2008年

イベント情報

子どもとあそび美術館 「まちひと暮らしのおはなし会」

展示室で鑑賞のヒントをお話した後、講義室にて本展のテーマや出品作品にちなんだ絵本の読み聞かせなど(幼児から小学校低学年向け)を行います。

日時:8月31日(金)、9月9日(日) 出演:おはなし広場
9月27日(木)、10月8日(月・祝) 出演:おはなし星の子
各日 15:00~15:40

定員:10組程度、当日先着順、要覧覧会観覧料 *詳細はHPを参照ください

小コーナー展示 濱田窯の系譜——濱田晋作 濱田友緒展

同時開催企画展

- 没後40年 濱田庄司展 大阪市立東洋陶磁美術館 堀尾幹雄コレクションを中心に 2018年6月30日(土)~8月26日(日)
- 向井潤吉 人物交流記 2018年9月8日(土)~11月4日(日)

[アクセス]

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは美術館行バス①「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バス②「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス③「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台) 東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。

